

一流の技に触れられる、夏限定

NIPPON NO OTO



小・中・高対象
参加無料



4日間の和楽器プログラム。柔らかな感性を持つこども時代こそ本物の伝統体験を。

❀ 和の音 特別体験プログラム

2026年

8月18日(火)/19日(水)/21日(金)

❀ 発表・和の音 演奏会

2026年

8月23日(日) 9:30-11:30

参加者によるリハーサルと成果発表会
プロの演奏家による模範演奏

❀ 会場：アイプラザ一宮



要予約

【和の音 体験プログラム：実践とお話】

楽器の持ち方、音の出し方、日本の音楽のしくみ、音あそびや豆知識などを楽しく学びながら伝統的奏法の基礎を体験します。お一人につき1台の楽器をご用意。

①篠笛 9:00-10:00 (定員15名)

②長唄三味線 A 10:10-11:10 (定員5名)

長唄三味線 B 10:55-11:55 (定員5名)

※①と②の連続受講可能 ※先着順 (全日受講可能な方優先)

- 【会場】 アイプラザ一宮 (一宮市若竹3丁目1-12) 第1日本間
【日程】 体験：8/18(火)、19(水)、21(金) / 発表：8/23(日) ※全プログラム要予約
【対象】 小学2年生以上 ※楽器初心者、ご兄弟、高校生以上の参加も歓迎です
【参加費】 無料 (ご父兄参観自由)
【主催】 長唄ことはじめ (山田)
【申込】 以下のメール・電話・インスタ DM いずれかにてお申し込みください
nagautakotohajime@gmail.com / 090-1479-7531
@nagauta_kotohajime

はじめて出会う、 日本の音

― 篠笛・長唄三味線体験から、和の音の感覚にふれてみよう ―
呼吸や音の間。和楽器には、日本の「座」の文化につながる感覚が息づいています。
初めてでも、自然と耳や身体が反応する和の音。この夏、和楽器の体験してみませんか。

長唄ことはじめ

文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

長唄という音楽

江戸時代、長唄は歌舞伎音楽とともに発達していきました。はじめは唄と三味線だけで演奏されていましたが、やがて篠笛や鼓・太鼓などの囃子が加わり、舞台全体を彩る華やかな音楽へと発展しました。躍動感あふれるリズムや節、繊細な間(ま)の表現は、子どもたちの感性や想像力を豊かに育みます。

長唄三味線とは

三味線は16世紀頃に日本へ伝わった弦楽器が、日本独自の改良を重ねながら発展したと考えられています。長唄三味線は、歌舞伎や日本舞踊で用いられる細棹三味線で、唄に寄り添いながら繊細で美しい響きを生み出すことを特徴としています。長唄に古くから伝わる「口三味線(くちじゃみせん)」という、「チントンシャン」などの音で覚える伝統的な指導法を体験します。

篠笛とは

竹に穴を開けたシンプルな構造の横笛は古くから祭礼や民俗芸能で演奏されてきましたが、歌舞伎音楽に取り入れられたことで独自の発展を遂げ、「篠笛」と呼ばれるようになったと伝えられています。情景や季節感などを音で描き、舞台全体の空気を作り出す大切な役割を担っています。本プログラムではプラスチック製篠笛を貸し出しますので、ご自宅でも練習できます。

長唄には、西洋音楽とは異なる伝統的な演奏様式があります。体験会では、長年受け継がれてきた奏法や表現に触れ、その様式を体験します。



講師・演奏

唄方 東音 山田卓

東京藝術大学音楽部邦楽科卒業 / 長唄東音会同人。長唄・囃子・笛「藍ノ会」主宰。笛師 藍山(二代目)

三味線方 杵屋三澄那

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学大学院修士課程修了 / 「常英賞」受賞。東京藝術大学等非常勤講師。長唄東音会同人。長唄「那胡の会」主宰 ※8/23のみ

囃子方 堅田喜代音

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業 / 鼓調会、長唄協会会員 ※8/23のみ

笛方 福原寛瑞

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学大学院修士課程修了 / 「安宅賞」「アカンサス音楽賞」市川市文化振興財団 最優秀賞受賞 ※8/23のみ

三味線方 杵屋彌五次

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業 / 長唄東音会同人

長唄ことはじめ

nagautakotohajime@gmail.com @nagauta_kotohajime
大人対象プログラム同時開催。詳細は右記二次元コードをご覧ください。

もっと身近に、日本の伝統音楽を。
「長唄ことはじめ」は、子どもたちの豊かな感性を育む活動を行っています。



大人対象プログラム同時開催
@nagauta_kotohajime